取扱説明書

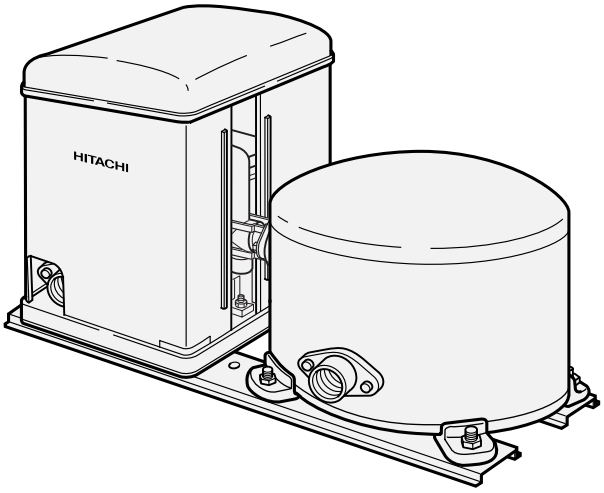
HITACHI
Inspire the Next

日立浅井戸用ポンプ

〔単相用〕WT-P400S形
〔3相用〕WT-K750S形

このたびは日立ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

PAMに換えると、暮らしが変わる！
日立PAM（パム）インバーターポンプ
Pulse Amplitude Modulation



もくじ

取り扱いについて

ページ
- 安全上のご注意 ……2
- 各部の名称と使いかた ……4
- 使用上のご注意 ……5
- 故障かな…と思ったら ……6
- 仕　　様 ……6
- 保証とアフターサービス ……7

据付工事について（販売店様・工事店様用）

ページ
- 工事をされる方へのお願い ……8
- 据え付け前の確認 ……8
- 据え付け時のご注意 ……9
- 配管工事について ……10
- 配線工事について ……11
- 運転について ……12
- 押上げ高さの切り替えについて ……13
- 運転モードの変更について ……14
- 除菌器の接続について ……15
- 防寒について ……15
- 表示について ……16

- 据え付けは専門工事が必要ですから、販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行なわないでください。
- ご購入のポンプの形名確認は、圧力タンクの表示をご覧ください。

ホーム＆ライフ
ソリューション

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

分解禁止

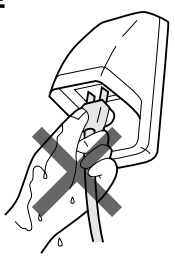
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行なわない。

- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切る。また、ぬれた手で抜き差ししない。

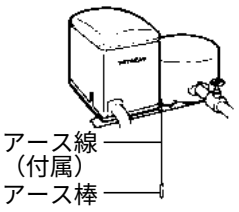
- 感電やけがをすることがあります。



アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。

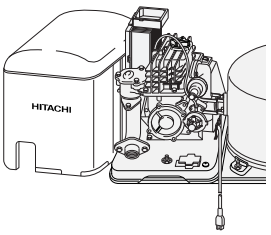
- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



禁止

ポンプカバーを外したまま使用しない。

- ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。

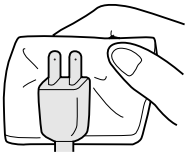


⚠ 警　告

清掃

電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく。

● 火災の原因になります。



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

● 誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

修理時対応

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、または電源を切って、お買い上げの販売店に必ず点検・修理を依頼する。

● 感電や漏電・ショートなどにより火災の恐れがあります。

禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。

● 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠ 注　意

電源

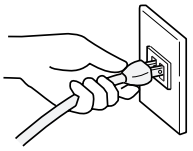
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切る。

● 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

注意

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。

● 感電やショートして発火することがあります。



禁止

運転中や運転直後のポンプやモータ、コントローラ、冷却ファンに触れない。

● 高温になっていますので、やけどの原因になります。

● 冷却ファンに巻き込まれる恐れがあります。

禁止

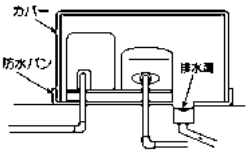
ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすいものを入れない。

● 過熱して発火することがあります。

防水処理

床面が防水処理・排水処理されているか確認する。

● 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

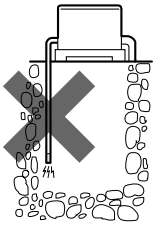


※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。

禁止

空運転（ポンプに水のない状態で運転）はしない。

● ポンプ内の水が熱湯になりやけど・故障の原因になります。



禁止

このポンプは清水以外の液体には使用しない。

● 破損によりけがや感電の恐れがあります。

禁止

ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない。

● 変形・脱落によりけがをする恐れがあります。

注意

製品の取り扱い時は手袋をして作業を行なってください。

● 万一のけが防止のためです。

各部の名称と使いかた

3相ポンプ用
サブコントローラ（WT-K750Sのみ）

ホッパーキャップ

冷却ファン
(コントローラを冷却します)

ポンプカバー

配線図
(ポンプカバー内側です)

コントローラ

逆止弁

ポンプヘッド

吸込口〔30mm〕

圧力センサー

自動空気補給装置

ブッシュザ

圧力タンク
表面が白く見える場合がありますが(表面コーティング材の吸湿によって)特に機能には影響しません。

吐出口〔25mm〕

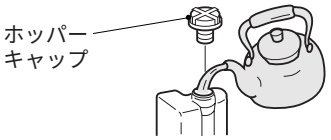
アース接続ねじ

ホッパーキャップ

呼び水のしかた

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水(約600mL)を入れます。

●モータ、コントローラ、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。

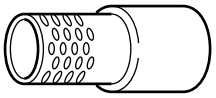


●数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。

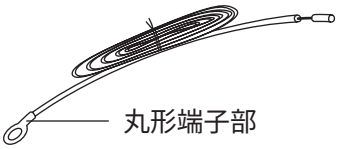
付属品

押しばね
吸上げ高さが3mより浅いとき、または押込揚程のときは、逆止弁の中に入れます。（9ページ参照）

ストレーナー
吸込管の先端に接続します。（8ページ参照）



アース線
アース線の丸形端子部をアース接続ねじに接続してください。（11ページ参照）



作動原理について

このポンプは、圧力タンク内の圧力が約40kPa低下すると、圧力センサーが検知し、自動的に運転を開始します。使用水量に応じてモータの回転数を変えて、吐き出し圧力を一定に保ちます。また、水の使用をやめると自動的に運転を停止します。(高寿命化を図るため、十数秒低い回転数で回して止めます)
以下、この動作を繰り返します。

コントローラ

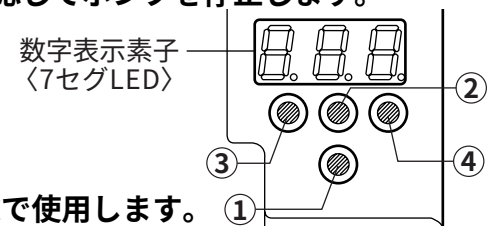
吐出圧力一定制御

使用水量に応じてモータの回転数を変えて、吐き出し圧力を一定に制御します。吐き出し圧力は下表の設定にしてあります。

形　　名	吐き出し圧力
WT-P400S、WT-K750S	220kPa一定制御

数字表示素子<7セグLED>（コントローラ部にあります）

通常は吐き出し圧力を表示します。例えば、220のときは、220kPaです。ポンプに異常が生じると、数字表示素子<7セグLED>が異常を表示し、内容に応じてポンプを停止します。



異常表示について

詳細は、「表示について」(16ページ)を参照してください。

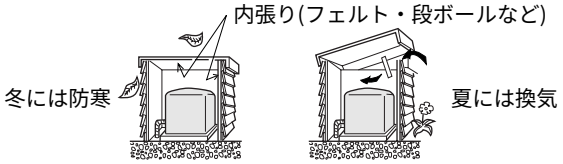
スイッチ

コントローラには、4種類のスイッチがあります。下記の用途で使用します。

スイッチNO.	用　　途	使　用　方　法
①	マイコンリセット	異常表示の解除などに使用します。
②	ポンプを手動でON、OFFする	ポンプ運転中に押すとOFFを表示し、ポンプが停止します。もう一度押すと、ポンプがonを表示して運転します。呼び水作業時などに使用します。ただし、吐き出し圧力が高い場合は、onを表示してもポンプは起動しません。
③	吐き出し圧力を切り替える	押上げ高さを変更するときに使用します。詳細は「押上げ高さの切り替えについて」(13ページ)を参照してください。
④	機種・運転モード切り替え	運転モードを変更するときに使用します。詳細は「運転モードの変更について」(14ページ)を参照してください。

使用上のご注意

冬期には、必ず凍結防止策を行なってください。(詳細は15ページ参照)



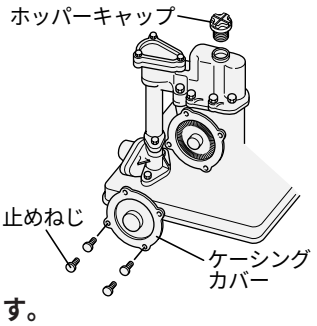
3～4日間以上水を使用されなかった場合など、ポンプ部内の水が濁っていることがあります。このようなときには、5～6分間水栓から水を流し、水がきれいになってからご使用ください。

ポンプの水抜きについて

●冬期に長時間ポンプを使用せず、電源プラグをコンセントから抜いている場合、ポンプの凍結保護機能(詳細は15ページ参照)が動作せず、ポンプヘッド部が凍結し破損する恐れがあります。下記の手順で水抜きを行ってください。再び使用するときは、呼び水を入れてから運転してください。(呼び水のしかたは、4ページを参照してください)

水抜きのしかた

❶ コントローラのスイッチ②を押し、ポンプをOFFにします。
❷ 電源プラグを抜きます。
❸ 吐き出し側の水栓を1か所開きます。
❹ ケーシングカバーを本体から外して水を抜きます。
❺ 水が全部抜けましたら、ケーシングカバーを元どおりの位置に止めねじ(4本)で固定します。



ご注意 **ケーシングカバーには、漏水防止のためのパッキン(Oリング)が装着されています。ケーシングカバー組込みの際は、パッキンの脱落やパッキンのかみ込みがないよう注意してください。**

故障かな……と思ったら

症　状	点検するところ	
ポンプが回らない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●ブレーカー、ヒューズが切れていませんか。 ●漏電遮断器が動作していませんか。 ●異常表示が出ていませんか。 (詳細は、「表示について」(16ページ)を参照してください。)	異常があるときは、ご使用を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
水栓を閉じてもポンプが止まらない	●水栓や配管から漏水していませんか。 (12ページの 3 漏水の確認方法に従い点検をしてください。) ●吸込管はしっかり接続され、空気の吸込みはありませんか。 ●コントローラの数字表示素子＜7セグLED＞は、一定制御圧力を表示していますか。 ご注意 水栓を閉じた状態でも、タイマーが働きしばらく運転しますが、異常ではありません。	

仕　　様

形名		WT-P400S		WT-K750S	
相・定格電圧		単相100V		3相200V	
モータ定格出力		400W		750W	
定格消費電力		690W		980W	
定格周波数		50-60Hz			
制御方式		PAMインバータ制御＋吐き出し圧力一定制御			
一定制御圧力		220kPa/280kPa 吸上げ高さに応じて切り替え可			
揚水量(L/分) (全揚程12m時)		40L/分(吸上げ高さ8m時)		61L/分(吸上げ高さ7m時)	
吸上げ高さ		8m	3m	7m	3m
押上げ高さ		16m	22m	16m	22m
フランジ径	吸込管	30mm(1 1/4 B)		30mm(1 1/4 B)	
	吐出管	25mm(1B)		25mm(1B)	
質量		29kg		29kg	

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは　出張修理

6ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品　　名	浅井戸用ポンプ
形　　名	WT-P400S形など
製造番号	4000001など
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用のポンプの点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	● 運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する。 ● ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。 ● 水を使用していないのに、ポンプが運転する。 ● コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。 ● 運転中に異常な音や振動がする。 ● 水漏れがする。(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など) ● 焦げ臭い“におい”がする。 ● 触るとビリビリと電気を感じる。 ● その他の異常がある。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

据付工事について（販売店様・工事店様用）

[工事をされる方へのお願い]

●製品機能が十分発揮できるように、この「据付工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
●据え付け後は必ず試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

1 電源の確認

●使用するポンプの電源と合っているか確認してください。
単相用ポンプ……単相100V　3相用ポンプ……3相200V

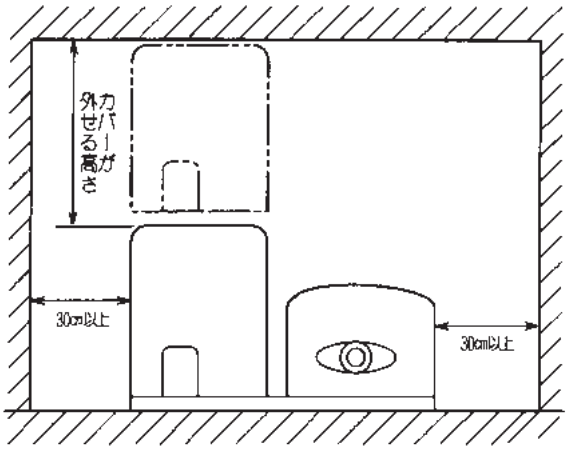
2 据え付け場所の確認

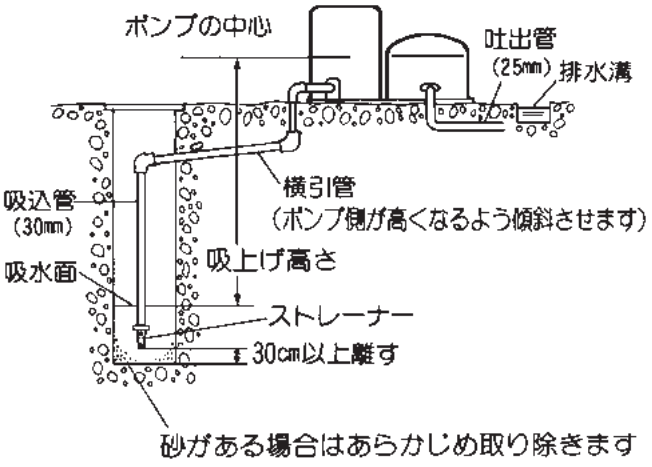
●点検・修理のしやすい場所を選んでください。
●ポンプはできるだけ井戸の近くに取り付けてください。
●横引きの距離(井戸からポンプまで)は吸上げ高さ(吸水面からポンプの中心まで)によって制限されます。吸上げ高さは、渇水時の水位低下を考えて決めてください。
●吸上げ高さによる横引管の長さ制限

吸上げ高さ(m)	8	7	6
横引き管の長さ(m)	3	14.5(3)	26(14.5)

(　)内はWT-K750S形のときで、吸上げ高さは7mまでです。

狭い場所は困ります。お手入れのために
周囲上下とも余裕をとってください。





3 砂の確認

●新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分取り除いてから配管してください。
●砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。(9ページ参照)

据え付け時のご注意

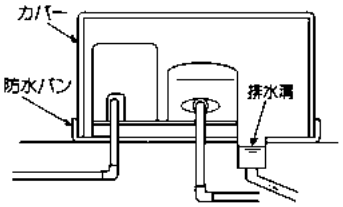
⚠ 注　意

床面が防水処理・排水処理されているか確認する。

防水処理

●水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

防水パン・カバーなどで、噴き出した水が必ず排水できるようにしてください。

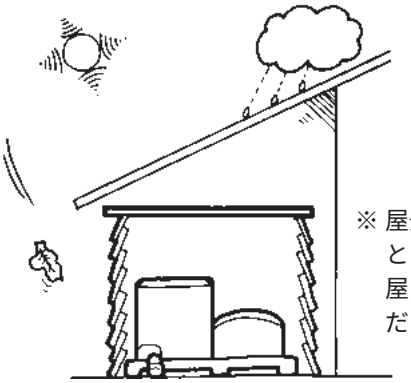


※カバーは風通しがよい構造にしてください。

※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。

屋外で使用できますが、できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付けてください。

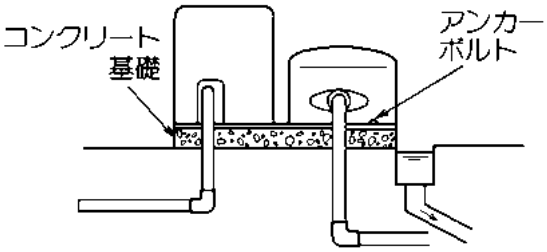
●製品を長持ちさせるためです。



※ 屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を、つくってください。

水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定してください。

基礎は沈下を防ぐために、コンクリートでつくることをお勧めします。

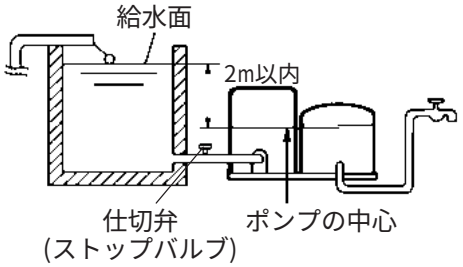


吸水面がポンプヘッドより高くなるとき(押込揚程のとき)は、2m以内にしてください。

※ウォーターハンマーなどにより、ポンプの部品が破損したり、漏水するのを防ぐためです。

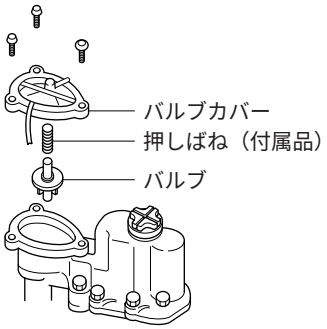
● 吸い込み口近傍に仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。

※点検・修理の際に必要です。



吸上げ高さが3mより浅いとき、または押込揚程(2m以内)のときは逆止弁に押しばね(付属品)を入れてください。

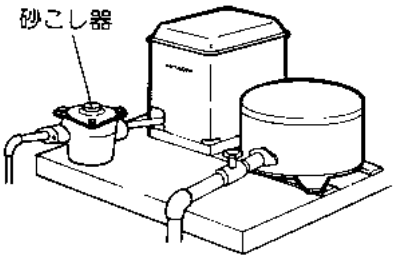
※ 自動空気補給装置および逆止弁の働きを確実にします。



砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。

●砂こし器はポンプの吸い込み側に取り付けてください。

※ポンプ内に砂が入り、砂かみや摩耗が大きくなるのを防ぐためです。



テレビやラジオを近づけないでください。

● テレビの画面が乱れることがあります。また、テレビ・ラジオの雑音の原因になります。

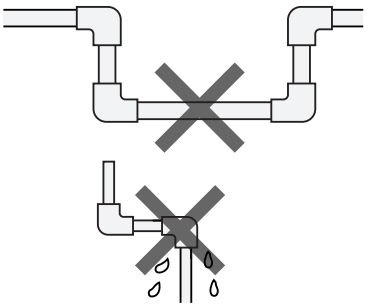
配管工事について

1 ポンプと配管の接続

●使用する配管の太さ

※市販のバルブ用ソケットを用意して、下記配管太さの水道用硬質塩化ビニル管で接続してください。

	配管の太さ(内径)
吸込管	30mm
吐出管	25mm



2 配管工事

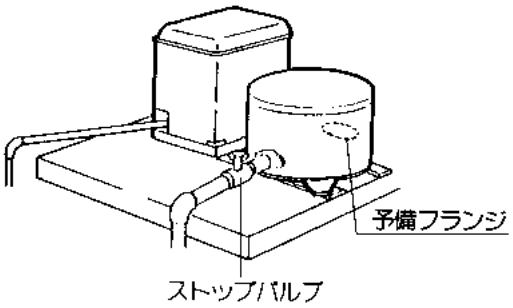
❶ポンプ内に異物が混入しないよう吸込管に付属のストレーナーを必ず取り付けてください。(8ページ参照)

❷水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくしてください。(性能低下、揚水不能の原因になります)

❸配管の継ぎ目は水漏れがないよう確実に行ってください。(性能低下の原因になります)

❹吐き出し口は位置を変えることができます。吐出フランジをボルトとともに交換します。

❺吐き出し口には必ず仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。※点検・修理の際に必要です。



3 配管の互換性について

●従来ポンプ（J形以前）と互換性があります。
配管は既設のまま接続できます。

4 最高水栓の取り付け位置

●配管や水栓の抵抗、ガス湯沸器やシャワーなどの必要最小圧力を考慮して器具や水栓の取り付け位置を決めてください。

配線工事について

⚠ 警　告

配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行なう。
●誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

1 アースと漏電遮断器を取り付けてください。

⚠ 警　告

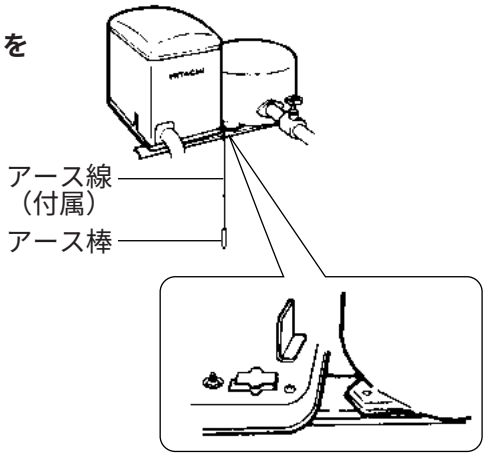
アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。
●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、必ず取り付けてください。(取り付けは有料です)
アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工事士が行ないます)が必要です。
工事の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

●アース線の接続について
- **D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。**
- **既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。**

ご注意 **次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。(法令などで禁止)**
●ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)



●漏電遮断器について
1. **漏電遮断器は▽または◈マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で電路の定格電流以上のものを電路に取り付けてください。**
2. **既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。**

2 電源電線の取り付け

●単相用ポンプのとき
専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。
やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

●3相用ポンプのとき
電源側にはブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続してください。

運転について

1 試運転

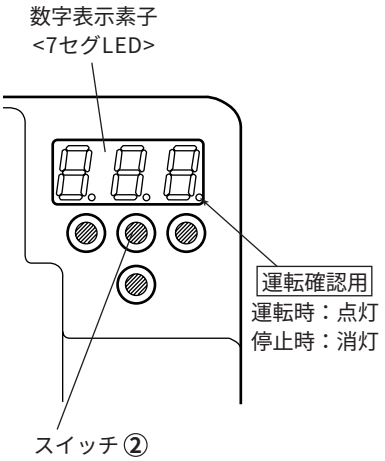
❶ホッパーキャップを外し、呼び水を十分に入れたあと、ホッパーキャップをしっかりねじ込みます。(呼び水のしかたは4ページを参照してください)

※ 押し込み配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。

❷吐き出し側の水栓を1か所開きます。

❸電源プラグをコンセントに差し込んでください。ポンプが運転を開始します。(ポンプが運転すると同時に、冷却ファンが作動します)

※ 数分たっても揚水しない場合は、呼び水が不足している場合があります。そのときは、スイッチ②を押してポンプを停止し、再び呼び水をしてください。ポンプを停止しますと、数字表示素子<7セグLED>に 0.0.0 が表示されます。呼び水をしましたら、再度スイッチ②を押してください。ポンプが運転を開始します。



ご注意 ●ポンプに呼び水をしないうちに運転することは禁物です。空運転によるポンプの痛みを防ぐためです。
●電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。

2 運転状態の確認

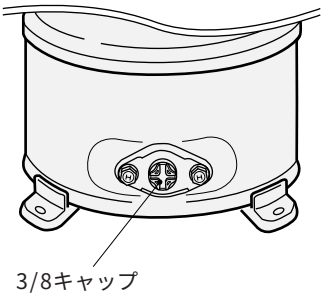
●異常なく運転を開始したら、水栓を開閉し、ポンプの運転状態や漏水個所がないか確認してください。

●水栓を開閉させ、吐き出し圧力一定で運転しているか確認してください。吐き出し圧力は数字表示素子<7セグLED>の表示で確認できます。

●水栓を閉じてポンプが停止することを確認してください。ポンプの起動頻度を抑えるため、水栓を閉じた状態でもタイマーが働き、しばらく運転しますが、異常ではありません。
また、ポンプが停止しても、冷却ファンは約10分間作動します。

ご注意 ●水栓を閉じたあと、凍結保護運転(表示： A.H.8)を開始する場合がありますが、異常ではありません。水栓を開いて水を使用しますと、通常運転(表示：吐き出し圧力表示)に戻ります。

※圧力タンク内の空気が不足すると、正常な運転ができず、 0.A.1 または 0.A.2 を表示します。圧力タンク内の水を抜いてください。



＜圧力タンク内の水抜きのしかた＞

❶コントローラスイッチ②を押し、ポンプを 0.A.A にします。

❷吐き出し側の水栓を1カ所開きます。

❸3/8キャップを外して水抜きをします。

3 漏水の確認方法

●ポンプ圧力を高圧にして、漏水の有無を確認できます。

＜手順＞

❶水栓を閉じてスイッチ②を押します。 0.A.A が表示されます。

❷ 0.A.A を表示している状態で、スイッチ②を押し続けるとポンプが強制運転を開始します。
圧力が強制運転停止圧力値に上昇してポンプが自動停止するまでスイッチ②を押し続けます。

形　名	切り替えモード	強制運転停止圧力
WT-P400S WT-K750S	Loモード(工場出荷時)	約280kPa
	hlモード	約340kPa

※吸上げ高さによっては強制運転停止圧力値まで上昇しない場合があります。＜7セグLED＞の圧力値に上昇が見られなくなったら、スイッチ②を離してください。

❸ ❷ の状態(ポンプ停止)で、＜7セグLED＞の圧力値が低下するようでしたら漏水が考えられます。再度、漏水個所がないか確認してください。

4 運転モードについて

●水の使用方法によっては運転モードを変更する必要があります。

Sモード(工場出荷時)

連続運転時間が約60分以内の場合に使用。

ポンプの運転：設定した吐き出し圧力で一定制御します。吐き出し圧力の設定は「押上げ高さの切り替えについて」を参照してください。

ご注意 60分以内でも 8.8.8、8.8.2 表示が頻繁に出る場合は、Uモードに設定してください。

Uモード

連続運転時間が約60分以上の場合に使用。

（融雪、畑への散水、池水の循環など）

ポンプの運転：ON圧(起動圧)とOFF圧(停止圧)が設定されており、起動、停止を繰り返します。

詳細は「運転モードの変更について」(14ページ)を参照してください。

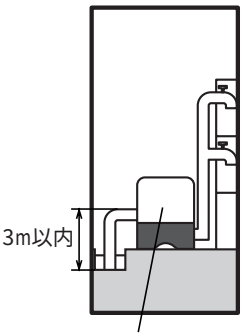
押上げ高さの切り替えについて

●コントローラ内のスイッチにより、ポンプの吐き出し圧力を変更し押上げ高さを切り替えることができます。使用状態や用途に応じて切り替えてください。

●押上げ高さの切り替え方法

押上げ高さは吸上げ高さに応じてコントローラで切り替えできます。

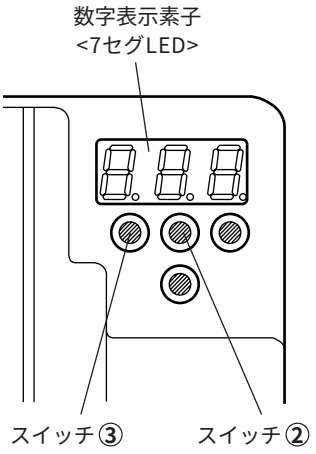
形　名	切り替えモード	吸上げ高さ	押上げ高さ	一定制御圧力	強制停止圧力
WT-P400S WT-K750S	Loモード(工場出荷時)	吸上げ8～0m (WT-K750は吸上げ7～0m)	16m	約220kPa	約280kPa
	hlモード	吸上げ3m～押込み2m	22m	約280kPa	約340kPa



ご注意
●hlモードでご使用になる場合は、吸上げ高さ3m以内で使用してください。過負荷によるポンプの故障や寿命低下を防ぐためです。
●吸上げ3m～押込み2mで使用するときは、必ず逆止弁に押しばね(付属品)を入れてください。(9ページ参照)
●ポンプ圧力が過大になるのを防ぐため、強制停止圧力に達すると、ポンプを自動的に停止します。

1 hlモード設定方法

❶スイッチ②を押して 8.8.8 にします。
❷スイッチ③を3秒以上長押しにします。
❸表示が 8.8.o になり点滅します。(一定制御圧力約220kPa)
❹もう一度スイッチ③を押すと表示 8.8.8 点滅。
(一定制御圧力約280kPaに切り替わります。)
(もう一度スイッチ③を押すと 8.8.o が点滅)
❺設定が決まったらスイッチ②を押します。
❻ポンプが運転を始めます。
❼以上で設定完了です。



運転モードの変更について

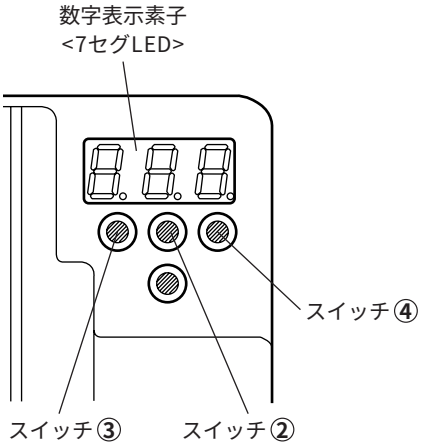
●次にあげる使用方法の場合は運転モードをSモード(工場出荷時)からUモードに変更する必要があります。

○約60分以上、連続運転する用途で使用の場合
(融雪、畑への散水、池水の循環など)

Uモードとは？
ポンプの起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)を定め、ポンプを断続運転させる運転モードです。ポンプを断続運転し、自動空気補給装置を作動させ、圧力タンク内へ定期的に空気を補給します。
Uモードも下表のように、押上げ高さに応じて起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)を切り替えることができます。

形　名	切り替えモード	押上げ高さ	Uモード	
			ON圧力	OFF圧力
WT-P400S	Loモード	16m	180kPa	240kPa
WT-K750S	hIモード	20m	220kPa	280kPa

1 Uモード設定方法(例：WT-P400Sの場合)



❶スイッチ②を押して[0.F.A]にします。
❷スイッチ④を3秒以上長押しにします。
表示が[S.0.0]になり点滅します。
❸スイッチ④を押すごとに[S.0.0]→[U.0.0]→[S.0.2]→[U.0.2]→[S.0.3]→…[S.0.0]と表示が切り替ります。ご使用になる運転モードに設定してください。

機種	運転モード	
	Sモード	Uモード
WT-P400S	[S.0.0]	[U.0.0]
WT-K750S	[S.3.0]	[U.3.0]

❹設定が決まったらスイッチ②を押します。
❺以上で設定完了です。

2 Uモード使用時の押上げ高さの切り替えについて

❶スイッチ②を押して[0.F.A]にします。
❷スイッチ③を3秒以上長押しにします。
❸表示が[A.C.a]になり点滅します。
❹もう一度スイッチ③を押すと表示[A.A.A]点滅。
(もう一度スイッチ③を押すと[A.C.a]が点滅)
❺設定が決まったらスイッチ②を押します。
❻ポンプが運転を始めます。
❼以上で設定完了です。

3 設定作業の確認(例：WT-P400Sの場合)

❶スイッチ②を押して[0.F.A]にします。
❷もう一度スイッチ②を押すと、[A.b.b]→[S.0.0]または[U.0.0]→[A.C.b]または[A.A.A]と表示し、ポンプが運転を始めますので、このとき確認できます。
希望の運転モードNo.と異なる場合は、もう一度やり直してください。

ご注意 ●Uモードは圧力一定制御ではないため、水圧が変動します。
●Uモードには[0.C.0]、[0.F.1]、[0.F.2]の表示はありません。

除菌器の接続について

●J1形以前の除菌器を接続する際は、下記に注意してください。
●除菌器はポンプの運転状態に応じて間欠運転をします。

1 結線について

●J1形以前の除菌器を接続する際は、下記パーツ部品を購入してください。
結線方法などの詳細は、パーツ部品の説明書をご覧ください。

部　品　名	部 品 番 号	使用数量
セツゾクコネクタ(CS)	CS-20J1　002	1

2 カルキ量の調整について

●除菌器接続後はカルキ量の調整を再度行ってください。
（カルキ量の調整方法は、除菌器の取扱説明書を参照してください）

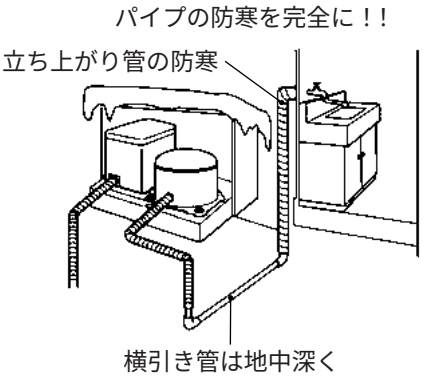
ご注意 ●他社除菌器と組み合わせた場合、正常な動作を保証できません。
日立除菌器との組み合わせを推奨します。

防寒について

●寒い地方はもちろんですが、暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがありますので、必ず凍結防止策を行なってください。

1 配管

●横引き部分……地中に埋めてください。
●地上の露出部分……保温材を使用してください。
寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご利用ください。



2 ポンプ

屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋をつくってください。
小屋は夏も換気ができるようにしてください。

3 凍結保護運転

●凍結温度に達するとポンプを自動的に断続運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止する機能がついています。
●凍結防止の効果は周囲温度が－5℃ぐらいまでが目安です。
※凍結保護運転については、「表示について」(16ページ)を参照してください。

⚠ 警　告

禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプのカバー内に燃えやすいものを入れない。
●過熱して発火することがあります。

※凍結による破損事故については責任を負えませんので、凍結防止対策は徹底して行なってください。

表示について

●コントローラに数字表示素子<7セグLED>が付いています。異常が生じると異常モードを表示し、ポンプを停止します。表示内容によって、すみやかに処置してください。

1 通常表示

表　示	お　知　ら　せ　内　容		処　　置
[例] 220	吐出圧力	ポンプの吐き出し圧力を表示します。	ー
PH	凍結保護運転	周囲の温度が約3℃になると自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。	凍結保護運転中に水を使用しますと、通常運転に戻ります。
CF2	圧力タンク内空気不足(Sモードのみ)	断続運転を繰り返した後に表示し、自動的にUモードに切り替わります。	圧力タンク内の水を抜いた後に、リセットスイッチを押してください。(12ページ参照)

2 異常表示 (販売店、工事店へ連絡し、お客様は処置しないでください)

表　示	お　知　ら　せ　内　容		処　　置
CC	空運転(Sモードのみ)	井戸の水位低下やポンプの呼び水が落ちた(吐き出し圧力10kPa以下で約60分以上運転した)場合に表示し、ポンプが停止します。	井戸の水位や逆止弁からの水落ちを確認してください。
CE FS	欠相(3相ポンプのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
CF1	圧力タンク内空気不足(Sモードのみ)	自動停止ができなくなり、断続運転を繰り返した後に表示し、ポンプが停止します。	圧力タンク内の水を抜いた後に、リセットスイッチを押してください。(12ページ参照)
Fb	過電圧	異常に高い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	電源電圧を確認してください。
FC	不足電圧	異常に低い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	電源電圧を確認してください。
FE1	過電流	異常な電流が流れたときやモータ信号線の断線などの場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
		圧力タンク内の空気が減少した場合に表示し、ポンプが停止します。	圧力タンク内の水を抜いてください。(12ページ参照)
FE2	モータロック	砂かじりなどによって羽根車がロックした場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
F1	圧力センサ断線	圧力センサからの情報が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
F3	過昇温	ポンプカバー内が異常に高温となった場合や冷却ファンが故障してコントローラが異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　**電話（　　）　ー**

ご購入年月日　　**平成　　年　　月　　日**

日立 ホーム＆ライフソリューション株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111